

2025年度 北陸大学一般選抜(本学独自方式)A日程問題

(2月4日実施)

# 日 本 史

(注 意)

1. 問題冊子は本文6ページ、問題Ⅰ～Ⅲ、解答数24。
2. 解答用紙はマークシート1枚、解答は各解答欄に、当てはまる  
選択肢の枠内をぬりつぶすこと(複数解答は無効)。
3. 解答用マークシートは、持ち帰ってはならない。
4. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
5. コピー及び二次利用は行わないこと。

【I】次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

10世紀はじめに関東の地にあらわれた（A）は、早くからこの地に土着した桓武平氏の一族で、下総を本拠地としていた。彼は、一族内の争いののち、939年、常陸の国府を襲い、さらに下野や上野の国司を追放し、みずから新皇と称して朝廷に背いた。しかし翌年、一族の平貞盛と藤原秀郷によって鎮圧された。同じ頃、瀬戸内海においても、（i）の国司であった藤原純友が、936年、海賊の首領として乱をおこし、941年には（ii）を占領した。しかし同年、小野好古・源経基によって鎮圧された。この東西二つの内乱は承平・（B）の乱とよばれ、10世紀の初めに地方武士が台頭し成長している実態を示している。

地方武士の実力が明らかになると、朝廷は武士を検非違使などに任じて治安を維持しようとはかり、貴族も警護のために武士を用いた。武士も、官職などの権威を得ることで在地支配を有利にしようとはかり、中央とのつながりを強めていった。清和源氏は10世紀以降、畿内を本拠地としていたが、摂関家の侍として勢力を拡大した。1028年、関東でおこった平忠常の乱を（C）が平定し、さらに11世紀後半に東北でおこった前九年合戦・後三年合戦を源頼義とその息子が鎮圧したことにより、源氏は東国に確固たる基盤をもった。この後、東北は奥州藤原氏の支配するところとなり、清衡・基衡・秀衡の3代約100年間にわたって、（D）を中心にその繁栄が続いた。

11世紀に全盛をきわめた摂関家は、外戚関係をもたない後三条天皇の即位を機にその勢力を失っていた。天皇は延久の荘園整理令を出し、記録荘園券契所を設けて、きびしく荘園を整理するなどして摂関家に対抗した。つぎの白河天皇は、1086年に幼少の（E）に皇位を譲り、みずからは上皇となつて院政を開始した。これ以後、上皇が設けた院庁が政務の中心となり、院に集結した近臣（院司）らによって政治が行われ、院から発せられる院宣や院庁下文が重要な命令となった。白河上皇にはじまり、鳥羽、後白河の3上皇が政治を左右した約100年間を院政時代とよぶ。

院政がつづくなかで、天皇家と摂関家の内部で皇位継承や荘園の相続をめぐる対立が表面化した。そして、天皇家や摂関家は有力な武士たちを巻き込んで、2つの大きな内乱を招いたが、それらは結果として、武士の力が権力争いには決定的な要素をもつことが明らかになり、武士の政治的地位が高まるとともに、武家政権への道が開かれることになった。

問1 （A）にあてはまる人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

（マークシート解答欄1）

1. 平正盛                      2. 平将門                      3. 平忠盛                      4. 平忠正

問2 （i）・（ii）にあてはまる地名の組み合わせを、下の選択肢から1つ選びなさい。

（マークシート解答欄2）

1. 備中・博多                      2. 安芸・長崎  
3. 伊予・大宰府                      4. 播磨・鹿児島

問3 ( B ) にあてはまる年号を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄3)

1. 明德                      2. 天慶                      3. 貞観                      4. 弘安

問4 ( C ) にあてはまる人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄4)

1. 源頼信                      2. 源義仲                      3. 源頼家                      4. 源義家

問5 ( D ) にあてはまる現在の県名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄5)

1. 青森県                      2. 秋田県                      3. 岩手県                      4. 宮城県

問6 ( E ) にあてはまる天皇の尊号(名前)を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄6)

1. 天武天皇                      2. 元明天皇                      3. 宇多天皇                      4. 堀河天皇

問7 下線部アについて、下の4つの文は院政に関する説明文である。説明として適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄7)

1. 摂関時代に冷遇されていた勘解由使や衛士を権力基盤に取り込んだ。
2. 3人の上皇の中で鳥羽上皇の時期に寄進地形系荘園が急速に拡大した。
3. 院が多く国の知行国主になったことで院の経済基盤は弱まった。
4. 院の軍事力として僧兵や西面の武士を設けて御所の警備にあてた。

問8 下線部イについて、下の4つの文は、2つの大きな内乱に関する説明文である。説明として不適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄8)

1. 保元の乱について、この内乱は鳥羽法皇がなくなったことをきっかけにおこった。
2. 保元の乱について、崇徳上皇方と後白河天皇との戦いであり、天皇方が勝利した。
3. 平治の乱について、源義朝が藤原信頼と結んで平清盛らを排除しようと挙兵した。
4. 平治の乱について、源義朝は平清盛の軍に討たれ、子の源頼朝は鎌倉に流された。

【Ⅱ】次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

徳川家康は、貿易奨励もあってキリスト教の布教活動を黙認していた。そのため、アイエズス会だけでなく、他の会派の宣教師も来日し、信徒は増大した。しかし、幕府は、キリスト教が神仏信仰を否定していること、信徒が信仰によって団結する恐れがあること、イスパニア・ポルトガルが布教を通じて日本を侵略する可能性があることなどにより、禁教策に転じるようになった。1612年、幕府はキリシタン武士の改易や直轄都市での教会の破壊をおこなった。以後、幕府や諸藩はきびしい禁教策をとり、信徒に改宗を強制し、宣教師や改宗しない者には過酷な迫害を加えた。

幕府は禁教策を徹底するために、貿易や海外との往来を制限するようになった。貿易制限は、西国大名が独自に貿易をおこなうことによって力をつけることを防ぐとともに、幕府が貿易の利益を独占するためにも必要なことであった。1616年、中国船以外の外国船の入港を平戸・長崎の2港に限るなど、以後、幕府は外国に対してさまざまな政策を打ち出し、実行した。日本人に対しては、1633年、( A ) 以外の日本船の海外渡航と、海外在住5年以上の者の帰国を禁じた。1635年には日本人の海外渡航と在外日本人の帰国を全面的に禁止した。

1637年、九州のある地方の農民たちが、領主のきびしい年貢の取り立てやキリスト教の弾圧に反対して( B )をおこした。農民たちは益田(天草)四郎時貞という少年を大将とし、前領主の牢人の指導のもと、3万人余りが原城跡に立てこもって抵抗した。幕府は九州の諸大名など12万人余りの大軍を動員し、老中松平信綱を派遣して、翌年、ようやく鎮圧することができた。

この乱は、幕府や大名にキリスト教への警戒をさらに深めさせた。1641年には、平戸の( i )商館を長崎出島に移し、こうしていわゆる鎖国が完成した。中国船の来航は続いたが、長崎に限って交易を認めた。海外の事情は、もっぱら( i )の商館長が幕府に提出する風説書や、中国船・朝鮮通信使などがもたらす情報から知ることができた。

鎖国に踏み切ることができたのは、外国貿易を制限しても国内だけで必要物資をほぼ自給できたからである。鎖国の完成によって、諸大名や朝廷の統制がすすんだが、これは徳川( C )の政権期にあたる。そして、鎖国の完成によって、以後、幕末までの日本の外交の枠組みが定まった。

問1 下線部アについて、1549年にフランシスコ＝ザビエルが渡来した場所を、下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄9)

1. 種子島                      2. 鹿児島                      3. 隠岐                      4. 博多

問2 下線部イについて、元キリシタン大名であり、マニラに追放された人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄10)

1. 加藤清正                      2. 柴田勝家                      3. 小西行長                      4. 高山右近

問3 下線部ウについて、下の4つの文はさまざまな政策について述べた説明文である。  
説明として不適切な文を、下の選択肢から1つ選びなさい。 (マークシート解答欄 11)

1. 1624年には、イスパニア船の来航を禁止した。
2. 1635年には、中国船の入港を長崎に限定した。
3. 1636年には、イスパニア人を長崎の出島に移した。
4. 1639年には、ポルトガル船の来航を禁止した。

問4 ( A ) にあてはまる語句を、下の選択肢から1つ選びなさい。  
(マークシート解答欄 12)

1. 奉書船
2. 樽廻船
3. 朱印船
4. 天龍寺船

問5 ( B ) にあてはまる語句を、下の選択肢から1つ選びなさい。  
(マークシート解答欄 13)

1. 島原の乱
2. 承久の乱
3. 応仁の乱
4. 明徳の乱

問6 ( i ) に共通してあてはまる国名を、下の選択肢から1つ選びなさい。  
(マークシート解答欄 14)

1. ポルトガル
2. オランダ
3. アメリカ
4. イスパニア

問7 ( C ) にあてはまる人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。  
(マークシート解答欄 15)

1. 秀忠
2. 家光
3. 綱吉
4. 吉宗

問8 下線部エについて、下の4つの文は、鎖国の完成から幕末までの日本の外交について述べた説明文である。説明として不適切な文を、下の選択肢から1つ選びなさい。  
(マークシート解答欄 16)

1. 朝鮮との国交については、対馬の宗氏を介して国交を結んだ。
2. 中国との国交については、長崎において貿易をおこなった。
3. 琉球との貿易については、毛利氏との間でおこなわれた。
4. 蝦夷地との貿易については、松前氏との間でおこなわれた。

【Ⅲ】次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

1955～57年の好景気は、建国神話にちなんで歴史始まって以来という意味で（ i ）景気と呼ばれた。この間、農業生産力も上昇し、消費者物価も安定した。1956年の『（ A ）』が「もはや戦後ではない」と記したように、日本経済は戦後の復興期を終え、新しい段階に入った。

この景気が去ったあと、一時的な景気の後退はみられたが、1958年からふたたび持続的な好景気に転じた。（ B ）内閣の所得倍増政策がこの動きを加速させ、年平均10%以上の経済成長を可能にするような好景気が42ヵ月にわたって続いた。メディアはこれを（ ii ）景気と呼んだ。次の内閣の時期に入ってから、1966～70年に57ヵ月続く好景気にめぐまれ、年率10%以上の高度成長を記録した。これを（ iii ）景気と呼んでいる。

この間、国民総生産（GNP）は飛躍的に伸び、1968年には市場経済圏の中で、（ C ）に次ぐ世界第2位の経済大国となった。鉄鋼・造船・自動車・化学などの部門は、欧米先進国の技術革新の成果を取り入れて設備を更新し、石油化学・合成繊維などの新しい部門も急速に発達した。また、この間、経済の実態とは無関係に固定されていた1ドル＝（ iv ）円の外国為替相場は、日本の（ v ）に有利に働いたため、大幅な貿易（ vi ）が続いた。そこで、（ v ）が順調に伸びる一方で、依然として国内産業保護のために、日本が（ vii ）制限をしているのは不公平であるという批判が、次第に国際社会で高まった。

経済の高度成長は、国民の生活様式と意識にも大きな変化をもたらした。個人消費の面では、1950年代の後半に、「三種の神器」が各家庭に普及した。その後、1960年代末以降はそれぞれの頭文字のCを用いて「3C」、いわゆる「新三種の神器」が取って代わった。こうした消費生活の上での変化は、流通の面にも変化をもたらし、スーパーマーケット、やがてコンビニエンス＝ストアなどが急速に普及し始めた。国民生活にいわば消費革命がおこったのである。さらに、鉄道の電化や高速道路網の整備も進み、民間航空の復興・発展もめざましく、1964年には東海道新幹線が開通した。しかし、高度成長の一方で、新しい社会問題があらわれ、特に「四大公害」を始めとする、生活環境の悪化がさまざまな地域で大きな問題になった。政府は、公害対策基本法の制定や環境庁の設置などを通じて、こうした問題に取り組み始めた。「人々の生活や労働の場も大きく変貌し、過疎化・過密化」という問題が生まれた。

問1 （ i ）・（ ii ）・（ iii ）にあてはまる適切な語句の組み合わせを、下の選択肢から1つ選びなさい。 （マークシート解答欄 17）

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 岩戸・オリンピック・いざなぎ | 2. 神武・岩戸・いざなぎ     |
| 3. オリンピック・神武・いざなぎ | 4. いざなぎ・神武・オリンピック |

問2 （ A ）にあてはまる出版物を、下の選択肢から1つ選びなさい。 （マークシート解答欄 18）

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 環境白書 | 2. 防衛白書 | 3. 経済白書 | 4. 通商白書 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 ( B ) にあてはまる人物名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 19)

1. 池田勇人            2. 佐藤栄作            3. 田中角栄            4. 大平正芳

問4 ( C ) にあてはまる国名を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 20)

1. ドイツ            2. フランス            3. イギリス            4. アメリカ

問5 ( iv )・( v )・( vi )・( vii ) にあてはまる適切な語句の組み合わせを、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 21)

1. 240・輸出・赤字・輸入            2. 360・輸出・黒字・輸入  
3. 240・輸入・黒字・輸出            4. 360・輸入・赤字・輸出

問6 下線部アについて、「三種の神器」にあてはまらないものを、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 22)

1. 電気冷蔵庫            2. 石油ストーブ            3. 電気洗濯機            4. 白黒テレビ

問7 下線部イについて、四大公害の説明として適切な文を、下の選択肢から1つ選びなさい。

(マークシート解答欄 23)

1. 熊本水俣病は、新日本窒素の工場から流出した有機水銀が原因である。  
2. 四日市ぜんそくは、昭和電工の工場から排煙されたカドミウムが原因である。  
3. イタイイタイ病は、三井金属神岡鉱山から流出した硫黄酸化物が原因である。  
4. 新潟水俣病は、三菱油化など6社の工場から排煙された有機水銀が原因である。

問8 下線部ウについて、下の4つの文はこの時期における人々の生活や労働の場の変貌を説明した文である。説明として不適切な文を下の選択肢から1つ選びなさい。(マークシート解答欄 24)

1. 農山村の就業人口は減少し、これに代わって都市労働者層やホワイトカラーが増加した。  
2. 農村では、高齢者や農家の主婦が主な働き手となり「三ちゃん農業」と呼ばれた。  
3. 会社では、年功序列や終身雇用制度を廃止し、能力主義を採用するところが増えてきた。  
4. 工場では、コンピュータによるオートメーション化が進むなど、労働環境が改善された。

